



受講修了者に渡されるオレンジリングと資料

院内研修

平成 29 年

5 月 23 日

特集

認知症サポーター講習

巷のテレビ CM でも放映されている「認知症サポーター」を当院の職員も受講しました。

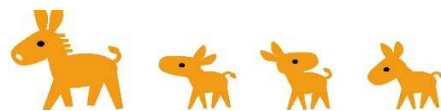
認知症サポーターは、地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など様々な方にも受講できるものです。認知症高齢者等に優しい地域づくりに当院としても取り組んでいきたいと考え、今回の機会を設けました。

認知症サポーターとは

認知症の人とその家族の「応援者（サポーター）」が認知症サポーターです。何か特別なことをするのではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。また、自分にできる範囲の手助けや今回学んだ知識を友人や家族に正しく伝

えること、認知症になった人や家族の気持ちを理解するなど活動はさまざまです。

平成 17 年より始まった認知症サポーターは、現在、全国で認知症サポーターは、約 900 万人まで増え続けています。その受講対象者はさまざまですが、半数は住民で、続いて企業や団体、学校といった内訳となっています。



オレンジリング

今回、当院職員 41 名、一般企業の方 6 名が新たに「認知症サポーター」として誕生しました。私は、カバンにオレンジリングを付け、目印にしました。医療従事者として、自分にできることを活動していきたいと思っています。



講師：中村ケアマネージャー
(あやなみケアプランセンター)

キャラバン・メイトとして、地域活動に貢献されています。



研修風景